

平成 30 年度

事業報告書・決算書

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

1. 運営の部

(1) 理事会

- ① 平成30年度第1回通常理事会 平成30年4月28日(土) 於 上野精養軒
- ② 平成30年度第2回通常理事会 平成31年2月23日(土) 於 上野精養軒

(2) 社員総会

平成30年度定時社員総会 平成30年5月26日(土) 於 上野精養軒

(3) 青少年オーケストラ委員会の開催

役員会 平成31年3月28日(木) 於 かつしかシンフォニーヒルズ
総会 平成31年3月29日(金) 於 かつしかシンフォニーヒルズ

2. 事業の部

(1) 第46回全国アマチュアオーケストラフェスティバル高知大会

平成30年8月17日(金)～8月19日(日)

於 高知市文化プラザ かるぼーと

(2) 高円宮殿下メモリアル第19回日本マスターズオーケストラキャンプ

平成31年1月12日(土)～14日(月・祝) 於 京都府民ホール アルティ

(3) 第35回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

平成31年3月27日(水)～30日(土) 於 かつしかシンフォニーヒルズ

(4) トヨタ自動車㈱との提携によるトヨタコミュニティコンサートの開催

(5) JAOのホームページを活用した広報活動事業

(6) 第33回国民文化祭・おおいた2018への協力・参加

オーケストラと合唱の祭典 = 11月4日(日) 於 iichiko 総合文化センター

(7) 国際交流事業

① ドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO) との連携

- ・「オーケストラのためのワークショップ」へ日本から9名が参加

平成30年5月18日(金)～22日(火)

於 ドイツ連邦共和国バイエルン州ハンメルブルク市

- ・「第46回全国アマチュアオーケストラフェスティバル高知大会」へドイツからの参加者5名を受け入れ

② 認定NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO) との連携

- ・「第46回全国アマチュアオーケストラフェスティバル高知大会」へ韓国・中国台湾・シンガポール・マレーシアからの参加者12名を受け入れ

- ・「第35回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へ韓国・台湾・フィリピンシンガポールからの参加者10名を受け入れ

- ・ノルウェイユースオーケストラ協会との提携により、「ノースユースシンフォニーオーケストラ」へ日本から1名が参加

平成30年6月22日(金)～7月1日(日) 於 ノルウェイ ボルスグルン

以上

平成 30 年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
平成 30 年 4 月 28 日	平成 30 年度 第 1 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度事業報告案並びに収支決算案を理事会承認、総会へ付議 2. 平成 30 年度事業計画書の修正を承認 3. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 4. 各事業に関して担当理事より報告 5. 退会会員について報告
平成 30 年 5 月 26 日	平成 30 年度 定時社員総会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度事業報告案並びに収支決算案の承認 2. 平成 30 年度事業計画並びに収支予算について報告 3. 第 47 回、第 48 回の全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催地について報告 4. 退会会員について報告
平成 31 年 2 月 23 日	平成 30 年度 第 2 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度補正予算案を承認 2. 平成 31 年度定時社員総会の開催を決議 3. 平成 31 年度事業計画案並びに予算案を承認 4. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 5. 各事業に関して担当理事より報告 6. 新規加盟及び退会会員について報告
平成 31 年 3 月 29 日	青少年オーケストラ 委員会総会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 35 回キャンプ（東京都開催）の開催状況報告 2. 第 36 回キャンプ（東京都開催）の開催案検討

2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	平成 31 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在		
正会員	134	137	3 会員減	減 3

平成 26 年度より平成 28 年度まで微増してきた会員数は、平成 29 年度以降減少が続いている。平成 30 年度は退会が 3 団体。退会理由はオーケストラ活動の停滞、及び財政難を理由としたもの。但し、1 団体から平成 31 年度期初からの入会申込みを受理しているため、平成 31 年度期初の会員数は 135 団体となる。

法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重要課題として取り組んでいきたい。

II. 事業の部

1. 全国フェスティバルの開催

平成 30 年度の全国フェスティバルの開催概要は次のとおり。

名 称：第 46 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル高知大会

期 間：平成 30 年 8 月 17 日（金）～ 19 日（日）

※「フェスティバルコンサート」 8 月 19 日

会 場：高知市文化プラザかるぽーと

演奏曲目等

歓迎演奏 : ホルスト／セントポール組曲
前田克治（編曲）／弘田龍太郎のこどもの歌によるファンタジア

指 揮：佐々木新平

演 奏：高知香南ジュニアオーケストラ・高知ジュニアオーケストラ

フェスティバルオーケストラ A

: R・シュトラウス／ドン・ファン

ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたざら

指 揮：川瀬賢太郎

コンサートマスター：三浦章宏

フェスティバルオーケストラ B

: マーラー／交響曲第 1 番「巨人」

指 揮：井崎正浩

コンサートマスター：森田昌弘

参加者総数：401 名（内、公募による参加者 12 名、海外参加者 17 名）

コンサート入場者：759 名

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は毎年全国各地を巡り開催する本連盟の主要事業だが、平成30年度は第46回フェスティバルを、高知県高知市にて開催した。

第46回高知大会は、全国85会員団体からの参加者と公募による一般参加者に、提携先のドイツアマチュアオーケストラ連盟（BDLO）、及び認定NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟（NPO-WFAO）を窓口としたアジア5カ国よりの参加者を加え、総勢401名の参加を得て盛大に開催された。

「フェスティバルコンサート」では、プログラムの最初に、開催地近隣で活動する2つのジュニアオーケストラの合同メンバーによる歓迎演奏が披露された。ジュニアオーケストラの指導経験豊富なプロ指揮者と地元ジュニアオーケストラとの共演は、本大会の特色となり開催地への貢献ともなった。

本大会期間中の「運営協議会」では、事前に回答を得たアンケート調査の結果に基づき、会員団体が抱える諸問題について情報交換と討議が行われた。

また、第2日目、第3日目は本連盟総裁 高円宮妃殿下のご来臨を仰ぎ、本連盟主催のレセプションにおいて参加者への励ましのお言葉を賜ったほか、「フェスティバルコンサート」をご鑑賞いただいた。

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成30年度のマスターズオーケストラキャンプの概要は次のとおり。

名 称：高円宮殿下メモリアル第19回日本マスターズオーケストラキャンプ

期 間：平成31年1月12日（土）～14日（月・祝）

14日に「初春コンサート」を開催

会 場：京都市 京都府立府民ホール「アルティ」

研修曲目：武満 徹／弦楽のためのレクイエム

チャイコフスキー／弦楽セレナード

講 師：森 悠子（ヴァイオリン）、西脇義訓（音楽監督）

参加者：82名

「初春コンサート」入場者：252名

本キャンプの前途に大きな期待を抱かれていた前JAO総裁 故 高円宮殿下のご遺志を尊重し、名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠した「日本マスターズオーケストラキャンプ（MOC）」は、当初は主にシニア層の弦楽器奏者を対象としていたが、第12回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することもキャンプの重要な役割とし今日に至っている。

第19回となる平成30年度のMOCは、6年ぶりに 森 悠子 氏、西脇義訓 氏を講師としてお迎えし、実験的な試みを取り入れながら弦楽アンサンブルの構築と音楽の表現方法について指導していただいた。

最終日に開催した「初春コンサート」には、京都府のご協力により京都府在住の東日本大震災被災者の方々の内10数名のご来場をいただき、多くのご来場者を得て、本キャンプの成果を披露することができた。

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

名 称：第 35 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期 間：平成 31 年 3 月 27 日（水）～ 30 日（土）
会 場：東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ
研修曲目：ベートーヴェン／交響曲第 5 番「運命」
 ショスタコーヴィチ／交響曲第 5 番「革命」
指 揮 者：松井慶太（当初予定の 尾高忠明 氏の代役）
講 師：楽器毎に 1～2 名、計 18 名のプロ奏者
参 加 者：162 名（内、海外参加者 4 カ国 10 名）

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ（TYOC）」は 2 年を 1 期とし、2 年目には特別演奏会を開催し成果を発表する。全国から参集した青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに、演奏技術を学びその体験を地元を持ち帰り地域のオーケストラ活動に活かすことを目的としている。

平成 30 年度は第 16 期の 1 年目にあたり、東京都葛飾区「かつしかシンフォニーヒルズ」を研修会場として開催した。

本キャンプは、当初ご指導をお願いしていた指揮者の 尾高忠明 氏が急病でキャンセルとなり、急遽 松井慶太 氏をお願いするという異例の事態となったが、松井氏をはじめ楽器別 18 名の講師の先生方の熱意溢れるご指導により、平成 31 年に開催する「日本青少年交響楽団特別演奏会」への期待がいやが上にも高まるものとなった。

例年 1 年目のキャンプでは、開催地への貢献プログラムとして「トヨタ・楽器の友だち大集合」を実施しているが、今回はさらに「プレコンサート」と称して、地域の方々に身近に音楽を楽しんでいただけるよう小演奏会を開催した。

本キャンプは認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟の協力を得て第 25 回より海外からの参加者を受け入れているが、今回は 韓国・台湾・フィリピン・シンガポールから総勢 10 名の参加者を受け入れ、青少年同士の国際交流の機会を提供した。

また、本キャンプ初の試みとして、海外参加者を引率してきた指導者と日本の青少年オーケストラ指導者が集まり、各国の実情を報告し意見交換をする会議が開催された。

4. 広報活動事業

「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援

「トヨタコミュニティコンサート（TCC）」は「音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること」を目的に、トヨタ自動車㈱並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会。公演回数は平成30年度末で1674回を数え、入場者数は延べ132万人を超えている。

開催形式は大きく3つに分かれ、アマチュアオーケストラにとってチャレンジングな企画内容の「チャレンジ公演型コンサート」（A1方式）、生演奏を聴く機会の少ない方々のもとへの「移動・訪問コンサート」（A2方式）、オーケストラの自主公演を部分的に支援し生演奏を聴く機会の少ない方々を招待する「招待コンサート」（B方式）がある。

平成30年度は、21都道府県で41公演が開催された、その内訳はA1方式2公演、A2方式9公演、B方式30公演、各公演に本連盟が開催支援を行った。

また、TCCは（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より、平成29年度から「東京2020参画プログラム」の認定を受けている。

5. 国民文化祭への参加・協力

名 称：第33回国民文化祭・おおいた2018 「オーケストラと合唱の祭典」

期 間：平成30年11月3日（土）～4日（日）

※「一般の部 コンサート」 11月4日

会 場：iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ

演奏曲目等

一般の部 : マーラー／交響曲第2番「復活」

指 揮：森口真司

コンサートマスター：川瀬麻由美

ソプラノ：林 満理子

アルト : 愛甲久美

昭和62年から開催されております国民文化祭「オーケストラの祭典」に対して、JAOは積極的に会員団体からの参加を呼びかけており、平成30年度は「国民文化祭おおいた・2018」における11月4日（日）開催の「オーケストラと合唱の祭典」へ協力し、会員団体から多くの団員が参加した。

以上

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	18,165,518	16,059,481	2,106,037
未収金	6,244,000	6,966,160	▲ 722,160
立替金	0	95,200	▲ 95,200
前払金	0	344,880	▲ 344,880
流動資産合計	24,409,518	23,465,721	943,797
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	44,400,000	44,400,000	0
基本財産合計	44,400,000	44,400,000	0
その他の固定資産			
什器備品	9	9	0
敷金	617,924	617,924	0
その他の固定資産合計	617,933	617,933	0
固定資産合計	45,017,933	45,017,933	0
資産合計	69,427,451	68,483,654	943,797
II 負債の部			
流動負債			
未払金	16,113,464	12,892,278	3,221,186
預り金	96,055	498,003	▲ 401,948
流動負債合計	16,209,519	13,390,281	2,819,238
負債合計	16,209,519	13,390,281	2,819,238
III 正味財産の部			
指定正味財産	44,400,000	44,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	(44,400,000)	(44,400,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産	8,817,932	10,693,373	▲ 1,875,441
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	53,217,932	55,093,373	▲ 1,875,441
負債及び正味財産合計	69,427,451	68,483,654	943,797

平成30年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	4,739	27,548	▲22,809	
基本財産受取利息	4,739	27,548	▲22,809	定期預金利息
② 受取入会金	30,000	30,000	0	
受取入会金	30,000	30,000	0	1会員
③ 受取会費	8,700,000	8,850,000	▲150,000	
正会員受取会費	6,750,000	6,850,000	▲100,000	135会員
賛助会員受取会費	1,950,000	2,000,000	▲50,000	22会員
④ 事業収益	16,021,000	12,953,308	3,067,692	
公1事業収益	16,021,000	12,953,308	3,067,692	入場料・参加費・広告料
⑤ 受取補助金等	26,122,000	25,885,000	237,000	
受取地方公共団体補助金	1,500,000	2,300,000	▲800,000	高知県、高知市
受取民間助成金	24,622,000	23,585,000	1,037,000	トヨタ自動車、ガクステックサービズ 他
⑥ 雑収益	175,091	185,112	▲10,021	
受取利息	91	112	▲21	
雑収益	175,000	185,000	▲10,000	懇親会費
経常収益計	51,052,830	47,930,968	3,121,862	
(2) 経常費用				
① 事業費	46,760,686	42,915,646	3,845,040	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	3,840,000	3,840,000	0	
臨時雇用賃金	472,200	526,430	▲54,230	
法定福利費	733,247	723,840	9,407	厚生年金保険料・健康保険料
福利厚生費	6,437,683	6,735,577	▲297,894	
会議費	993,768	881,788	111,980	
旅費交通費	12,072,706	8,692,613	3,380,093	
通信運搬費	1,099,065	1,106,259	▲7,194	
消耗品費	1,581,200	976,508	604,692	
印刷製本費	1,081,369	1,190,186	▲108,817	
光熱水料費	153,515	175,978	▲22,463	
賃借料	7,562,238	6,808,817	753,421	
保険料	50,367	0	50,367	
諸謝金	6,900,999	7,572,771	▲671,772	
広報費	188,594	219,303	▲30,709	
雑費	713,735	585,576	128,159	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	6,167,585	6,347,048	▲179,463	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	960,000	960,000	0	
法定福利費	183,277	180,960	2,317	厚生年金保険料・健康保険料
福利厚生費	100,410	66,000	34,410	
会議費	739,273	764,985	▲25,712	
旅費交通費	1,266,000	1,407,982	▲141,982	
通信運搬費	248,875	216,917	31,958	
消耗品費	103,408	96,713	6,695	
印刷製本費	243,000	253,260	▲10,260	2018年度版JA0関係資料
光熱水料費	38,380	45,733	▲7,353	
賃借料	745,146	801,500	▲56,354	
保険料	5,520	36,024	▲30,504	
租税公課	225,000	281,600	▲56,600	
雑費	589,296	515,374	73,922	
経常費用計	52,928,271	49,262,694	3,665,577	
当期経常増減額	▲1,875,441	▲1,331,726	▲543,715	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲1,875,441	▲1,331,726	▲543,715	
一般正味財産期首残高	10,693,373	12,025,099	▲1,331,726	
一般正味財産期末残高	8,817,932	10,693,373	▲1,875,441	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	44,400,000	44,400,000	0	
指定正味財産期末残高	44,400,000	44,400,000	0	
III 正味財産期末残高	53,217,932	55,093,373	▲1,875,441	

平成30年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書 内訳表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,739	0	4,739
基本財産受取利息	4,739	0	4,739
② 受取入会金	0	30,000	30,000
受取入会金		30,000	30,000
③ 受取会費	0	8,700,000	8,700,000
正会員受取会費		6,750,000	6,750,000
賛助会員受取会費		1,950,000	1,950,000
④ 事業収益	16,021,000	0	16,021,000
事業収益	16,021,000		16,021,000
⑤ 受取補助金等	26,122,000	0	26,122,000
受取地方公共団体補助金	1,500,000		1,500,000
受取民間助成金	24,622,000		24,622,000
⑥ 雑収益	12	175,079	175,091
受取利息	12	79	91
雑収益	0	175,000	175,000
経常収益計	42,147,751	8,905,079	51,052,830
(2) 経常費用			
① 事業費	46,760,686		46,760,686
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	472,200		472,200
法定福利費	733,247		733,247
福利厚生費	6,437,683		6,437,683
会議費	993,768		993,768
旅費交通費	12,072,706		12,072,706
通信運搬費	1,099,065		1,099,065
消耗品費	1,581,200		1,581,200
印刷製本費	1,081,369		1,081,369
光熱水料費	153,515		153,515
賃借料	7,562,238		7,562,238
保険料	50,367		50,367
諸謝金	6,900,999		6,900,999
広報費	188,594		188,594
雑費	713,735		713,735
② 管理費		6,167,585	6,167,585
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		183,277	183,277
福利厚生費		100,410	100,410
会議費		739,273	739,273
旅費交通費		1,266,000	1,266,000
通信運搬費		248,875	248,875
消耗品費		103,408	103,408
印刷製本費		243,000	243,000

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
光熱水料費		38,380	38,380
賃借料		745,146	745,146
保険料		5,520	5,520
租税公課		225,000	225,000
雑費		589,296	589,296
経常費用計	46,760,686	6,167,585	52,928,271
当期経常増減額	▲4,612,935	2,737,494	▲1,875,441
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品廃棄損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	3,000,000	▲3,000,000	
当期一般正味財産増減額	▲1,612,935	▲262,506	▲1,875,441
一般正味財産期首残高	3,814,598	6,878,775	10,693,373
一般正味財産期末残高	2,201,663	6,616,269	8,817,932
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	46,601,663	6,616,269	53,217,932

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、未収金、未払金、及び預り金を含めている。

ただし、特定目的預金については資金の範囲から除外している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
定 期 預 金	44,400,000	0	0	44,400,000
合 計	44,400,000	0	0	44,400,000

3. 基本財産の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
定 期 預 金	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
合 計	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(1) 現金預金		
現金手元有高	126,422	
普通預金 三菱UFJ銀行	17,929,347	
普通預金 十六銀行	9,970	
普通預金 三井住友銀行	25,147	
普通預金 静岡銀行	24,476	
普通預金 みずほ銀行	50,156	
現金預金合計	18,165,518	
(2) 未収金 第35回TYOC協賛金他	6,244,000	
流動資産合計		24,409,518
2 固定資産		
(1) 基本財産積立預金		
定期預金 三菱UFJ銀行	10,000,000	
定期預金 十六銀行	10,000,000	
定期預金 三井住友銀行	10,000,000	
定期預金 静岡銀行	10,000,000	
定期預金 みずほ銀行	4,400,000	
基本財産合計	44,400,000	
(2) その他の固定資産		
什器備品 保管庫・机・椅子等	9	
敷金 光陽ビル敷金	617,924	
その他の固定資産合計	617,933	
固定資産合計		45,017,933
資産合計		69,427,451
II 負債の部		
1 流動負債		
(1) 未払金 第35回TYOC経費	16,113,464	
(2) 預り金 源泉所得税	96,055	
流動負債合計		16,209,519
負債合計		16,209,519
正味財産		53,217,932

監査報告書

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

理事長 下谷 剛嗣 殿

平成 31 年 4 月 22 日

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

監 事 田 畑 隆 久 ㊟

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

監 事 坂 倉 元 ㊟

私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を読覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録)について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点に於いて適正に表示しているものと認めます。

以上